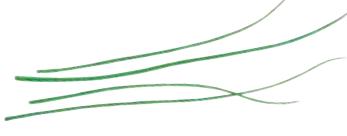




# 第100期 事業のご報告

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

**エスビー食品株式会社**

Star Anise 	Marjoram 	Rosemary 	Dill 	Ciboulette 	
Shiso 		Cardamon 	Italian Parsley 	Chili Pepper 	Sweet Basil 
Clove 	Chamomile 	Cinnamon 	Black Pepper 	Saffron 	

## 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

ここに当社第100期(平成24年4月1日～平成25年3月31日)の事業の概況と決算のご報告を申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要がありましたものの、世界経済の減速や円高の長期化から先行き不透明な状況が続きました。その後、昨年12月の政権交代により、経済対策や金融緩和政策への期待などから円安の進行とともに株価が上昇し、景気回復の兆しが見られるようになりました。

食品業界におきましては、お客様の節約志向は依然として強いなか、景気回復への期待感が個人消費に与える影響は限定的であり、また原材料価格が不安定な状況で推移するなど厳しい環境が続きました。

このような状況のなかで、当社および連結子会社(以下「当社グループ」といいます。)は、企業理念「真の顧客満足の追求」のもと、お客様の視点に立って、当社グループの強みでありますスパイスとハーブを核とした事業活動を推進してまいりました。新たな価値の訴求や創造をテーマにした製品開発を進めますとともに、おいしさや楽しさを広げる食の総合的なプロモーションを展開してまいりました。また、安全・安心な製品をお届けいたしますため、生産履歴に関する情報システムの充実や生産現場での作業品質の向上等も進めてまいりました。

経営管理面におきましては、昨年 の定時株主総会で社外取締役を選任し、コーポレート・ガバナンスの強化にも努めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は前期比19億65百万円減の1,254億15百万円(前期比1.5%減)とな

りました。利益面におきましては、売上高の減少に加え、原材料価格の上昇等により売上原価率が増加したこと、また競争激化により販売促進費の割合が増加したことから、営業利益は前期比5億74百万円減の36億4百万円(同13.7%減)、経常利益は前期比8億20百万円減の33億8百万円(同19.9%減)となりましたが、当期純利益は、法人税等の減少などにより、前期比4億30百万円増の17億26百万円(同33.2%増)となりました。

なお、当連結会計年度における設備投資は、製品の安全・安心対策、品質の安定・向上、生産性の向上を目的とした設備の更新・改良などにより総額23億14百万円の投資を行いました。

食料品事業においては、当社上田工場・東松山工場の生産設備の更新・改良を中心に19億46百万円、その他においては、株式会社ヒガシヤデリカ北関東工場の設備増強を中心に3億67百万円の設備投資を行いました。

また、当連結会計年度中に、増資あるいは社債発行による資金調達は行っておりません。

今後の見通しにつきましては、経済対策や金融政策の効果による景気回復が期待されますものの、世界経済の減速などの懸念材料もあり、先行き不透明な状況はしばらく続くものと推測されます。

食品業界におきましては、個人消費の本格的な回復にはしばらく時間がかかるものと予想されるなかで、お客様の意識や要望の変化に対応することが求められるものと思われま

す。当社グループといたしましては、このような情勢のもと、次の施策に取り組んでまいりたいと考えております。

企業理念として掲げました「真の顧客満足の追求」とは、お客様の声にしっかりと耳を傾け、お客様にとっての価値を知り、それに応え続けることであり、お客様の視点に立った企業活動を続けることであります。従いまして、「お客様の声」を企業の財産とし、製品やサービスに反映させるよう努力してまいります。

当社グループは「SPICE&HERB」というコーポレートシボルのもと、スパイスとハーブを核とした事業活動を展開しております。市場競争力をもった価値ある製品開発に取り組みますとともに、スパイスやハーブを身近に、そして楽しんでお使いいただくための情報発信を進化させてまいります。

製品の安全・安心対策では、引き続き品質管理の徹底を行いますとともに、検査体制のさらなる充実にも努めてまいります。そして、より一層の品質保証体制を確立するため、国際規格の認証取得などの取組みを継続して進めてまいります。

経営管理面におきましては、執行役員制度を活用し、取締役と執行役員の役割を明確にし、経営全般のスピードアップとコーポレート・ガバナンスの強化を図り、もって経営環境の変化に迅速かつ的確に対応してまいります。また、内部統制システムにつきましては、運用の徹底を図りますとともに、さらなる充実にも取り組んでまいります。

企業の社会的責任に関しましては、皆様の食生活を担う食品企業として、当社グループならではの優れた品質で、かつ安全で安心いただける製品の提供に努め、さらに皆様のご信頼とご支持を得て、社会とともに持続可能な企業であり続けられますよう、法令遵守は勿論のこと企業倫理、

社会貢献活動などへの取組みに最善の努力をいたしたいと考えております。

自然の恵みによって得られるスパイスとハーブをお客様にお届けする当社グループといたしましては、環境保全活動を重要課題の一つと認識し、「環境基本方針」のもと、環境に配慮した生産体制の整備や製品の開発・改良をはじめ企業活動全般から生じる環境への負荷の低減に努めてまいります。

先行きに確かな明るさが見えない状況のなか、生産性向上に向けた取組みのスピードアップを図り、社会環境の変化に耐えうる企業体質の構築に取り組んでまいりたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援、ご協力を賜われますようお願い申し上げます。

平成25年6月



代表取締役社長

山崎 雅也

## 食料品事業

売上高 1,156億50百万円 前期比 1.8%減

### ● スパイス&ハーブ

「SPICE&HERB」シリーズをはじめとする洋風スパイスは、堅調に推移いたしました。また、手軽にスパイスを楽しめる「マジックソルト」などのシーズニングスパイスや業務用香辛料製品が順調に推移いたしますとともに、フレッシュハーブも伸ばいたしましたことから、売上高は前期比6億75百万円増の205億36百万円となりました。



### ● 即席

高級タイプの「ディナーカレー」や、濃厚な味わいが特徴の「濃いシチュー」が売上を伸ばしますとともに、「濃いハヤシ」や「ハビファミカレー」などの新製品も寄与いたしました。しかし、主力製品の「とろける」シリーズが、前期実績の反動などにより減少いたしましたことから、売上高は前期比14億61百万円減の325億42百万円となりました。



### ● 香辛調味料

チューブ製品は、お徳用タイプがご好評をいただきますとともに、新製品の「本生きざみわさび」も寄与いたしましたことから、売上を伸ばいたしました。また、中華調味料の「李錦記ブランド」製品も順調に推移いたしました。しかし、ラー油関連製品が減少いたしましたことから、売上高は前期比8億23百万円減の282億69百万円となりました。



## ● インスタント食品その他

パスタソースにおきましては、ラインナップの充実などの製品施策により売上を伸ばいたしました。レトルトカレーでは、新製品の「ホテル・シェフ仕様 特製ビーフカレー」がご好評をいただきましたが、全体としては前期実績に及びませんでした。また、無菌包装米飯が減少いたしましたことから、売上高は前期比4億93百万円減の343億1百万円となりました。

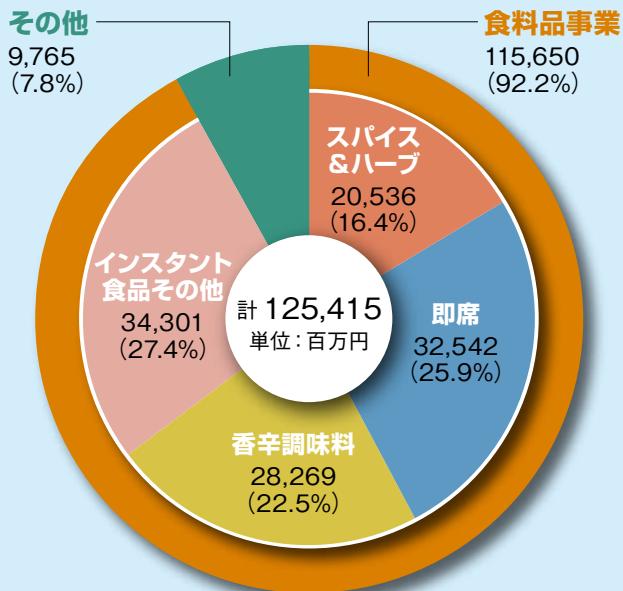


## その他

売上高 97億65百万円  
前期比 1.4%増

調理麺が好調に推移するなど、調理済食品が前期実績を上回りました。

## 連結売上高構成比



## 即席カレー市場活性化への取組み

当社では、即席カレー市場の活性化のために新製品や季節限定製品の発売、既存品のリニューアルといった製品施策、メニュー提案や各種キャンペーンなどのプロモーション活動を積極的に展開しています。

### 「ハピファミカレー」発売

家族みんなでおいしく! 楽しく! をコンセプトにしたファミリータイプのカレールウ「ハピファミカレー」を本年1月に発売しました。

ミルクとはちみつ、果実(りんごとバナナ)が溶け込んだ、まろやかな味わいで、クリーミーなチキンビヨンを使用した、ミルク感もあふれるおいしさです。楽しくユニークなネーミング(ハピファミ=幸せなファミリー)で、製品の独自性と楽しさを表現しました。

当社では、TVCMの投入やこれと連動した「ハピファミ動画コンテスト」の実施、人気ブロガー「みきママ」さんとのタイアップ企画、FacebookやTwitterを使ったキャンペーン情報の発信など、各種プロモーションを通じて、家族の楽しい「食」を応援します。

※「ハピファミカレー」に関する情報は、当社ホームページでご覧いただけます。  
(<http://www.sbfoods.co.jp/hapifami/>)



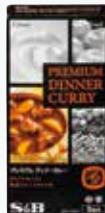
©しこくのミサワ

### ディナーブランド誕生40周年 「プレミアムディナーカレー」発売

ディナーブランド誕生40周年を記念して、贅沢を極めた味わいの当社最高級カレールウ「プレミアムディナーカレー」を本年2月に発売しました。

奥深いコクのフォン・ド・ボーと生クリーム、バター濃厚な旨みが、まるで欧風カレー専門店に味わうような本格カレーです。別添のフルーツチャツネを仕上げに入れることで、フレッシュな果実感と爽やかな香りをお楽しみいただけます。

※「プレミアムディナーカレー」をはじめ、「ディナーカレー」に関する情報は、当社ホームページでご覧いただけます。  
(<http://www.sbfoods.co.jp/dinner/>)



## スマートフォン向け無料アプリ「S&Bマジックレシピ」の提供を開始

毎日のメニューの決定やスパイス&ハーブの使い方を楽しくサポートするスマートフォン向け無料アプリ「S&Bマジックレシピ」のApp Store(iPhone向け)・Google Play(Android向け)での提供を、本年1月より開始しました。スパイスやハーブの楽しさをお伝えしながら、楽しくおいしい食卓を応援するコンテンツです。

### 「S&Bマジックレシピ」の主な機能

#### ○レシピ検索

スパイスやハーブの種類、メニューのカテゴリーからだけでなく、今の気分と料理のジャンルを組み合わせるとレシピ検索ができます。

#### ○バーコード機能

当社製品のバーコードを読み取ると、製品情報やその製品を使ったレシピを見ることができます。

#### ○デコフレーム付カメラ機能

カメラ機能で撮影した画像を、スパイス&ハーブのキャラクター付きフレームで楽しくデコレーションすることができます。

#### ○カレンダー機能

イベントに合わせてあらかじめレシピを登録したり、料理の写真を保存したりして、オリジナルのメニューカレンダーを作ることができます。

#### ○動画レシピ

料理の作り方やコツを、動画でわかりやすく紹介しています。

#### ○育成ゲーム

「唐辛子」や「バジル」など、特定の製品のバーコードを読み取ると、生育から収穫までバーチャル体験できる育成ゲームを楽しむことができます。



※「S&Bマジックレシピ」に関する情報は、当社ホームページでご覧いただけます。  
([http://www.sbfoods.co.jp/company/newsrelease/2013/1301\\_app\\_magic-recipe.html](http://www.sbfoods.co.jp/company/newsrelease/2013/1301_app_magic-recipe.html))

## 「本生」シリーズがロングセラー賞を受賞

贅沢な風味と香りをお楽しみいただける「本生」シリーズが、日本食糧新聞社主催の第31回食品ヒット大賞にてロングセラー賞を受賞しました。ロングセラー賞は、時代のニーズを先取りし、10年以上にわたる長期間、その分野で上位の売上を確保し、今日に至るまで流通部門を潤している商品を対象に授与されます。「本生」シリーズは発売から26周年を迎える当社の主カブランドであり、昨年の「濃いシチュー」の優秀ヒット賞に続いての受賞となりました。

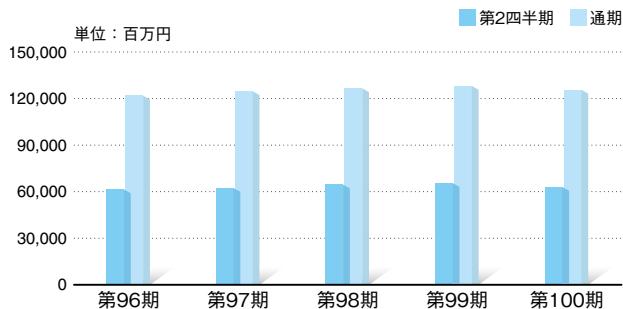
これからも、バラエティ豊かなラインナップで、本物のおいさを皆様の食卓にお届けします。

※「本生」シリーズに関する情報は、当社ホームページでご覧いただけます。  
(<http://www.sbwasabi.jp/>)

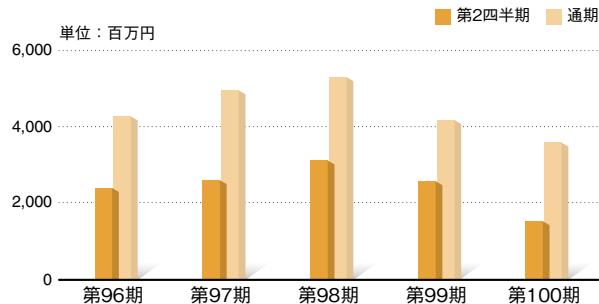


# 業績の推移(連結)

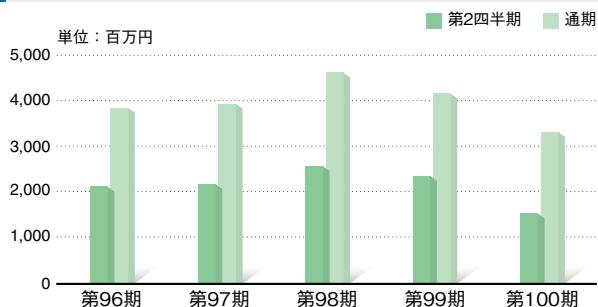
## 売上高



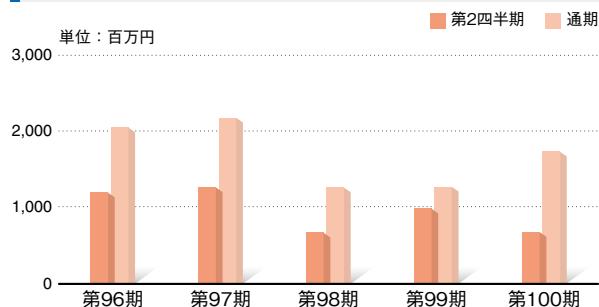
## 営業利益



## 経常利益



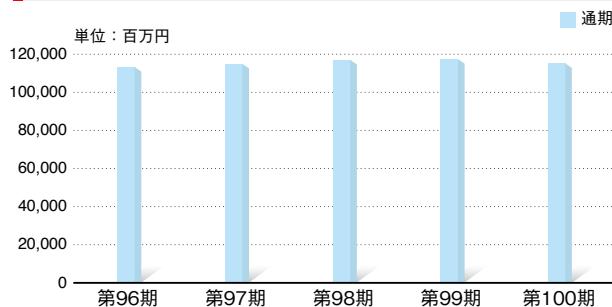
## 当期純利益



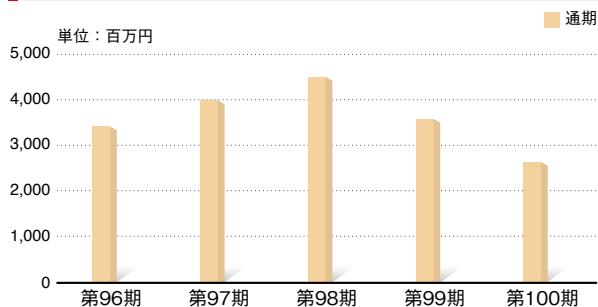
区 分		第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
		(平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	(平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	(平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	(平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	(平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
売 上 高	(百万円)	122,907	124,474	126,722	127,381	125,415
営 業 利 益	(百万円)	4,304	4,956	5,352	4,178	3,604
経 常 利 益	(百万円)	3,826	3,925	4,647	4,128	3,308
当 期 純 利 益	(百万円)	2,053	2,185	1,249	1,296	1,726
1株当たり当期純利益	(円)	59.01	62.78	35.93	37.31	49.72
純 資 産	(百万円)	23,833	25,820	26,916	28,118	30,214
総 資 産	(百万円)	95,985	95,290	94,970	97,142	98,578

## 業績の推移(単体)

### 売上高



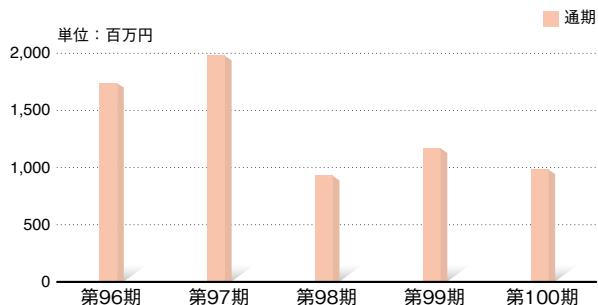
### 営業利益



### 経常利益



### 当期純利益



区 分	第96期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)	第97期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	第98期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	第99期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	第100期 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
売上高 (百万円)	113,297	114,994	116,927	117,480	115,358
営業利益 (百万円)	3,428	3,990	4,492	3,538	2,620
経常利益 (百万円)	3,206	3,596	4,082	3,358	2,382
当期純利益 (百万円)	1,741	1,985	909	1,187	990
1株当たり当期純利益 (円)	49.99	57.02	26.12	34.09	28.45
純資産 (百万円)	21,853	23,651	24,443	25,562	26,901
総資産 (百万円)	77,957	78,440	77,778	80,344	80,318

# 財務諸表(連結)

## 連結貸借対照表

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	(平成24年3月31日現在)	(平成25年3月31日現在)
<b>[資産の部]</b>		
<b>流動資産</b>	<b>58,737</b>	<b>59,564</b>
現金及び預金	15,450	17,479
受取手形及び売掛金	25,261	24,592
商品及び製品	4,750	4,427
仕掛品	1,398	984
原材料及び貯蔵品	3,801	4,749
繰延税金資産	1,348	1,081
短期貸付金	6,902	6,250
その他	752	618
貸倒引当金	△ 927	△ 620
<b>固定資産</b>	<b>38,404</b>	<b>39,014</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>26,817</b>	<b>26,405</b>
建物及び構築物(純額)	10,075	10,025
機械装置及び運搬具(純額)	4,798	4,480
工具、器具及び備品(純額)	1,245	1,239
土地	10,102	10,066
リース資産(純額)	492	527
建設仮勘定	103	66
<b>無形固定資産</b>	<b>583</b>	<b>622</b>
のれん	22	19
リース資産	13	13
その他	547	589
<b>投資その他の資産</b>	<b>11,002</b>	<b>11,986</b>
投資有価証券	4,573	5,737
長期貸付金	2,155	2,210
繰延税金資産	2,545	2,341
その他	2,390	2,437
貸倒引当金	△ 661	△ 739
<b>資産合計</b>	<b>97,142</b>	<b>98,578</b>

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	(平成24年3月31日現在)	(平成25年3月31日現在)
<b>[負債の部]</b>		
<b>流動負債</b>	<b>46,406</b>	<b>49,801</b>
支払手形及び買掛金	11,300	10,998
短期借入金	22,731	26,403
リース債務	132	165
未払金	9,106	8,686
未払法人税等	703	1,093
賞与引当金	1,168	1,091
資産除去債務	2	—
その他	1,261	1,363
<b>固定負債</b>	<b>22,617</b>	<b>18,562</b>
長期借入金	13,312	8,774
リース債務	401	407
再評価に係る繰延税金負債	1,345	1,343
退職給付引当金	6,068	6,179
債務保証損失引当金	343	396
資産除去債務	124	120
長期未払金	142	79
その他	880	1,262
<b>負債合計</b>	<b>69,023</b>	<b>68,364</b>
<b>[純資産の部]</b>		
<b>株主資本</b>	<b>31,592</b>	<b>32,815</b>
資本金	1,744	1,744
資本剰余金	5,344	5,344
利益剰余金	24,606	25,850
自己株式	△ 103	△ 123
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△ 3,473</b>	<b>△ 2,600</b>
その他有価証券評価差額金	405	1,257
土地再評価差額金	△ 3,831	△ 3,835
為替換算調整勘定	△ 47	△ 22
<b>純資産合計</b>	<b>28,118</b>	<b>30,214</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>97,142</b>	<b>98,578</b>

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)	(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)
<b>売上高</b>	<b>127,381</b>	<b>125,415</b>
売上原価	72,154	71,744
<b>売上総利益</b>	<b>55,226</b>	<b>53,670</b>
<b>販売費及び一般管理費</b>	<b>51,047</b>	<b>50,066</b>
販売促進費	30,753	30,409
広告宣伝費	3,779	3,800
貸倒引当金繰入額	—	71
給料及び手当	4,073	3,921
賞与引当金繰入額	587	544
退職給付費用	652	613
減価償却費	620	651
その他	10,581	10,053
<b>営業利益</b>	<b>4,178</b>	<b>3,604</b>
<b>営業外収益</b>	<b>648</b>	<b>495</b>
受取利息	91	109
受取配当金	113	120
不動産賃貸料	46	39
貸倒引当金戻入額	253	0
為替差益	—	52
その他	143	173
<b>営業外費用</b>	<b>698</b>	<b>791</b>
支払利息	662	650
貸倒引当金繰入額	—	111
為替差損	1	—
その他	34	28
<b>経常利益</b>	<b>4,128</b>	<b>3,308</b>
<b>特別利益</b>	<b>76</b>	<b>250</b>
固定資産売却益	2	168
貸倒引当金戻入額	—	5
受取補償金	59	44
受取保険金	—	30
その他	14	2
<b>特別損失</b>	<b>586</b>	<b>331</b>
固定資産除却損	48	49
投資有価証券評価損	0	139
ゴルフ会員権評価損	36	4
貸倒引当金繰入額	26	—
債務保証損失引当金繰入額	124	53
関係会社清算損	—	51
災害による損失	32	—
事業整理損	96	—
その他	222	33
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>3,619</b>	<b>3,227</b>
法人税、住民税及び事業税	1,410	1,502
法人税等調整額	911	△ 2
<b>法人税等合計</b>	<b>2,322</b>	<b>1,500</b>
<b>少数株主損益調整前当期純利益</b>	<b>1,296</b>	<b>1,726</b>
<b>当期純利益</b>	<b>1,296</b>	<b>1,726</b>

## 連結株主資本等変動計算書

科 目	当連結会計年度 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
株主資本	
資本金	
当期首残高	1,744
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	1,744
資本剰余金	
当期首残高	5,344
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	5,344
利益剰余金	
当期首残高	24,606
当期変動額	
剰余金の配当	△ 487
当期純利益	1,726
土地再評価差額金の取崩	3
当期変動額合計	1,243
当期末残高	25,850
自己株式	
当期首残高	△ 103
当期変動額	
自己株式の取得	△ 1
持分法適用会社に対する持分変動に伴う自己株式の増減	△ 18
当期変動額合計	△ 20
当期末残高	△ 123

科 目	当連結会計年度 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
株主資本合計	
当期首残高	31,592
当期変動額	
剰余金の配当	△ 487
当期純利益	1,726
自己株式の取得	△ 1
持分法適用会社に対する持分変動に伴う自己株式の増減	△ 18
土地再評価差額金の取崩	3
当期変動額合計	1,223
当期末残高	32,815
その他の包括利益累計額	
その他の有価証券評価差額金	
当期首残高	405
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	851
当期変動額合計	851
当期末残高	1,257
土地再評価差額金	
当期首残高	△ 3,831
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 3
当期変動額合計	△ 3
当期末残高	△ 3,835

科 目	当連結会計年度 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
為替換算調整勘定	
当期首残高	△ 47
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	24
当期変動額合計	24
当期末残高	△ 22
その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△ 3,473
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	872
当期変動額合計	872
当期末残高	△ 2,600
純資産合計	
当期首残高	28,118
当期変動額	
剰余金の配当	△ 487
当期純利益	1,726
自己株式の取得	△ 1
持分法適用会社に対する持分変動に伴う自己株式の増減	△ 18
土地再評価差額金の取崩	3
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	872
当期変動額合計	2,095
当期末残高	30,214

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,731	4,789
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,409	△ 1,258
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 809	△ 1,523
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	28
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,512	2,035
現金及び現金同等物の期首残高	13,914	15,427
現金及び現金同等物の期末残高	15,427	17,462

※財務諸表の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 財務諸表(単体)

## 貸借対照表

科 目	前事業年度 (平成24年3月31日現在)	当事業年度 (平成25年3月31日現在)
<b>[資産の部]</b>		
<b>流動資産</b>	<b>50,264</b>	<b>49,795</b>
現金及び預金	13,719	14,995
受取手形	4,947	4,884
売掛金	19,809	19,179
商品及び製品	4,613	4,258
仕掛品	1,329	886
原材料及び貯蔵品	3,592	4,468
前払費用	315	306
繰延税金資産	1,256	1,316
短期貸付金	2,002	1,240
その他	192	139
貸倒引当金	△1,512	△1,880
<b>固定資産</b>	<b>30,080</b>	<b>30,522</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>18,613</b>	<b>18,454</b>
建物(純額)	6,912	6,799
構築物(純額)	310	276
機械及び装置(純額)	2,426	2,308
車両運搬具(純額)	13	19
工具、器具及び備品(純額)	591	584
土地	8,039	8,101
リース資産(純額)	278	339
建設仮勘定	40	23
<b>無形固定資産</b>	<b>505</b>	<b>564</b>
借地権	41	41
商標権	0	0
ソフトウェア	425	481
リース資産	2	6
電話加入権	25	25
その他	10	10
<b>投資その他の資産</b>	<b>10,961</b>	<b>11,504</b>
投資有価証券	4,363	5,522
関係会社株式	901	882
出資金	246	213
関係会社出資金	286	186
関係会社長期貸付金	1,620	1,580
破産更生債権等	0	0
長期前払費用	16	4
繰延税金資産	1,799	1,273
長期保険掛金	1,162	1,397
その他	959	1,002
貸倒引当金	△397	△561
<b>資産合計</b>	<b>80,344</b>	<b>80,318</b>

(単位：百万円)

科 目	前事業年度 (平成24年3月31日現在)	当事業年度 (平成25年3月31日現在)
<b>[負債の部]</b>		
<b>流動負債</b>	<b>35,590</b>	<b>38,592</b>
支払手形	4,047	3,234
買掛金	9,443	9,385
短期借入金	8,155	8,185
1年内返済予定の長期借入金	2,808	6,580
リース債務	98	130
未払金	8,720	8,315
未払費用	510	494
未払法人税等	538	917
前受金	2	4
預り金	121	135
前受収益	3	2
賞与引当金	967	901
資産除去債務	2	—
設備関係支払手形	170	306
<b>固定負債</b>	<b>19,192</b>	<b>14,825</b>
長期借入金	11,592	7,171
リース債務	200	237
再評価に係る繰延税金負債	1,345	1,343
退職給付引当金	5,436	5,464
債務保証損失引当金	343	396
資産除去債務	116	118
長期未払金	135	73
長期預り金	22	20
<b>負債合計</b>	<b>54,782</b>	<b>53,417</b>
<b>[純資産の部]</b>		
<b>株主資本</b>	<b>28,978</b>	<b>29,484</b>
資本金	1,744	1,744
資本剰余金	5,343	5,343
資本準備金	5,343	5,343
その他資本剰余金	0	0
利益剰余金	21,934	22,441
利益準備金	436	436
その他利益剰余金	—	—
厚生施設積立金	700	700
固定資産圧縮積立金	170	136
別途積立金	16,318	16,318
繰越利益剰余金	4,310	4,851
自己株式	△44	△45
<b>評価・換算差額等</b>	<b>△3,416</b>	<b>△2,583</b>
その他有価証券評価差額金	415	1,252
土地再評価差額金	△3,831	△3,835
<b>純資産合計</b>	<b>25,562</b>	<b>26,901</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>80,344</b>	<b>80,318</b>

## 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前事業年度 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	当事業年度 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
<b>売上高</b>	<b>117,480</b>	<b>115,358</b>
<b>売上原価</b>	<b>64,754</b>	<b>63,902</b>
商品及び製品期首たな卸高	4,107	4,613
当期製品製造原価	33,484	33,092
当期商品仕入高	31,815	30,454
合計	69,408	68,161
他勘定振替高	40	—
商品及び製品期末たな卸高	4,613	4,258
<b>売上総利益</b>	<b>52,726</b>	<b>51,455</b>
<b>販売費及び一般管理費</b>	<b>49,187</b>	<b>48,835</b>
販売促進費	30,752	30,409
荷造運搬費	2,484	2,405
広告宣伝費	3,744	3,761
貸倒引当金繰入額	—	468
給料及び手当	3,817	3,712
賞与引当金繰入額	565	517
退職給付費用	636	599
減価償却費	585	623
その他	6,600	6,337
<b>営業利益</b>	<b>3,538</b>	<b>2,620</b>
<b>営業外収益</b>	<b>388</b>	<b>399</b>
受取利息	85	75
受取配当金	111	117
不動産賃貸料	66	55
貸倒引当金戻入額	47	1
為替差益	—	49
その他	76	99
<b>営業外費用</b>	<b>568</b>	<b>637</b>
支払利息	542	510
貸倒引当金繰入額	—	108
為替差損	1	—
その他	24	17
<b>経常利益</b>	<b>3,358</b>	<b>2,382</b>
<b>特別利益</b>	<b>75</b>	<b>81</b>
貸倒引当金戻入額	—	5
受取補償金	59	44
受取保険金	—	30
補助金収入	9	—
その他	6	1
<b>特別損失</b>	<b>275</b>	<b>292</b>
固定資産除却損	21	18
投資有価証券評価損	0	139
ゴルフ会員権評価損	36	4
貸倒引当金繰入額	26	—
債務保証損失引当金繰入額	124	53
関係会社清算損	—	51
災害による損失	31	—
その他	36	26
<b>税引前当期純利益</b>	<b>3,158</b>	<b>2,171</b>
法人税、住民税及び事業税	1,134	1,180
法人税等調整額	837	0
法人税等合計	1,971	1,181
<b>当期純利益</b>	<b>1,187</b>	<b>990</b>

## 株主資本等変動計算書

				(単位：百万円)	
科 目	当事業年度 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	科 目	当事業年度 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	科 目	当事業年度 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
株主資本		固定資産圧縮積立金		株主資本合計	
資本金		当期首残高	170	当期首残高	28,978
当期首残高	1,744	当期変動額		当期変動額	
当期変動額		固定資産圧縮積立金の取崩	△34	剰余金の配当	△487
当期変動額合計	—	当期変動額合計	△34	当期純利益	990
当期末残高	1,744	当期末残高	136	自己株式の取得	△1
資本剰余金		別途積立金		土地再評価差額金の取崩	3
資本準備金		当期首残高	16,318	当期変動額合計	505
当期首残高	5,343	当期変動額		当期末残高	29,484
当期変動額		当期変動額合計	—	評価・換算差額等	
当期変動額合計	—	当期末残高	16,318	その他有価証券評価差額金	
当期末残高	5,343	繰越利益剰余金		当期首残高	415
その他資本剰余金		当期首残高	4,310	当期変動額	
当期首残高	0	当期変動額		株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	837
当期変動額		固定資産圧縮積立金の取崩	34	当期変動額合計	837
当期変動額合計	—	剰余金の配当	△487	当期末残高	1,252
当期末残高	0	当期純利益	990	土地再評価差額金	
資本剰余金合計		土地再評価差額金の取崩	3	当期首残高	△3,831
当期首残高	5,343	当期変動額合計	541	当期変動額	
当期変動額		当期末残高	4,851	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3
当期変動額合計	—	利益剰余金合計		当期変動額合計	△3
当期末残高	5,343	当期首残高	21,934	当期末残高	△3,835
利益剰余金		当期変動額		評価・換算差額等合計	
利益準備金		固定資産圧縮積立金の取崩	—	当期首残高	△3,416
当期首残高	436	剰余金の配当	△487	当期変動額	
当期変動額		当期純利益	990	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	833
当期変動額合計	—	土地再評価差額金の取崩	3	当期変動額合計	833
当期末残高	436	当期変動額合計	506	当期末残高	△2,583
その他利益剰余金		当期末残高	22,441	純資産合計	
厚生施設積立金		自己株式		当期首残高	25,562
当期首残高	700	当期首残高	△44	当期変動額	
当期変動額		当期変動額		剰余金の配当	△487
当期変動額合計	—	自己株式の取得	△1	当期純利益	990
当期末残高	700	当期変動額合計	△1	自己株式の取得	△1
		当期末残高	△45	土地再評価差額金の取崩	3
				株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	833
				当期変動額合計	1,339
				当期末残高	26,901

※財務諸表の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 会社情報

## 会社概要 (平成25年3月31日現在)

- 商号 エスピー食品株式会社
- 本社所在地 東京都中央区日本橋兜町18番6号
- 設立年月日 昭和15年4月5日(創業大正12年)
- 資本金 1,744百万円
- 従業員数 1,219名
- 主要な事業内容 スパイス&ハーブ(カレー粉、コショウ、洋風スパイスなど)、即席(ゴールデンカレー、ディナーカレー、とろけるカレー、とろけるシチューなど)、香辛調味料(本生 本わさび、おろし生しょうが、ねりからしなど)、インスタント食品その他(おでんの素、レトルトカレー、パスタソース、無菌包装米飯など)の製造販売

## 株式の状況 (平成25年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 88,000,000株
- 発行済株式の総数 34,885,585株
- 単元株式数 500株
- 株主数 6,306名
- 大株主

株主名	持株数	出資比率
峯栄興業株式会社	3,045 <sup>千株</sup>	8.73 %
山崎兄弟会	3,000	8.60
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,720	4.93
農林中央金庫	1,720	4.93
株式会社東京都民銀行	1,222	3.50
日本生命保険相互会社	904	2.59
セコム損害保険株式会社	881	2.53
大日本印刷株式会社	861	2.47
第一生命保険株式会社	622	1.78
株式会社三井住友銀行	611	1.75

## 役員 (平成25年6月27日現在)

取締役会長	江戸 龍太郎	監査役(常勤)	小池 宗夫
代表取締役社長	山崎 雅也	監査役(常勤)	島田 和典
代表取締役副社長	山崎 明裕	監査役	葛山 康典
代表取締役	荻原 敏明	監査役	松家 元
専務取締役首席執行役員	佐藤 哲也	監査役	鶴 高利行
取締役	小形 博行		
取締役	丹野 好生	執行役員	加藤 康博
取締役	荻原 修	執行役員	中西 友
取締役	荒木 哲二	執行役員	大矢 肇
取締役	谷 脇 一知	執行役員	池村 和也
取締役	谷 修	執行役員	小林 千尋
		執行役員	寺尾 隆一郎
		執行役員	田口 裕司

## 主な事業所 (平成25年6月27日現在)

名称	所在地	名称	所在地
本社	東京都	静岡 BU	静岡県
八丁堀ハーブテラス	東京都	中部 BU	愛知県
板橋スパイスセンター	東京都	北陸 BU	石川県
北海道 BU	北海道	関西 BU	大阪府
北東北 BU	岩手県	四国 BU	香川県
南東北 BU	宮城県	中国 BU	広島県
首都圏北部 BU	埼玉県	九州北 BU	福岡県
首都圏東部 BU	千葉県	九州南 BU	鹿児島県
首都圏中央 BU	東京都	沖縄 BU	沖縄県
首都圏西部 BU	東京都	上田工場	長野県
首都圏神奈川 BU	神奈川県	東松山工場	埼玉県
新潟 BU	新潟県	宮城工場	宮城県
長野 BU	長野県		

(注) 上記表中「BU」はビジネスユニットを省略記載したものです。



## 各種お手続きその他のご案内

- ① 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社にお申出ください。
- ② 未払配当金のお支払い  
証券会社の口座の有無にかかわらず、株主名簿管理人である日本証券代行株式会社にお申出ください。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
株主確定基準日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	日本証券代行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
(郵便物送付先)	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部
(電話照会先)	☎0120-707-843
(ホームページアドレス)	<a href="http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html">http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html</a>
同取次窓口	日本証券代行株式会社の支店および三井住友信託銀行株式会社の本支店(「コンサルティングオフィス」「コンサルプラザ」「i-Station」を除く)
公告方法	電子公告により行います。(URL: <a href="http://www.sbfoods.co.jp/">http://www.sbfoods.co.jp/</a> ) なお、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主優待制度	有



## 植林木

この報告書は、森林資源を守る為に計画的な植林によって育てられた樹木を原料としたパルプを使用しています。